

# 下庄校区の子どもを校区全体で育てる

## 大野市下庄小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	13日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	14人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	39人
登下校支援ボランティア	20人
その他 (図書ボランティア)	6人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「 基本的な生活習慣の確立 」

### 取り組み 家庭との連携で家庭学習習慣の形成を図る

#### 一家庭学習習慣チェック表の実施と情報交換を通してー

小中連携をふまえた学力向上を目指して家庭学習の習慣化や質の向上に取り組むために、家庭学習習慣チェック表を作成した。毎月、月はじめの5日間の家庭学習の状況を見守り保護者がチェック項目に沿って自己評価する。

チェック項目は児童5項目・保護者3項目で、チェック項目の表現は低・中・高学年でアレンジした。10月に実施した高学年チェック項目をいくつか示す。

#### <児童がチェック>

- 宿題を集中して、ていねいに取り組んでいますか。
- 家でも、進んで本を読んでいますか。
- 「10分×学年」以上、学習していますか。

#### <保護者がチェック>

- お子さんが学習しやすい環境を整えようとしていますか。
- お子さんの学習の様子を見たり、話題にしたりしていますか。

この他に、児童、保護者ともにコメント欄を設けている。自分や我が子の変化や課題が毎週書かれているが、多くの家庭で安定した家庭学習習慣が形成されてきていることが伺える。

コメントの具体例をいくつか紹介する。

- ・家庭生活にリズムがでてきた。 ・文字を丁寧に書くようになった。
- ・読書をするようになった。 ・親子の会話の時間がなかなか確保できない。
- ・テレビを見たりゲームをする時間帯を守れない。

寄せられたコメントは学級担任が整理し全校で回覧している。また、学校だよりや学年だよりでコメントを紹介し、児童の意欲づけや保護者同士の情報交換に役立ててもらった。次年度も児童はもとより、保護者にも家庭学習について関心を高めてもらい学校との連携の中で児童の生活習慣形成や学力向上に取り組んでいきたい。

### 成果と課題 小中連携の流れに位置づけるために・・

地域・学校協議会で家庭学習チェック表の実施状況について報告した。委員からは、「家庭学習について、児童や保護者の意識が向上的に変容していることは大きな成果である。」「中学校区全体で実施できると9年間の長いスパンで確実な習慣づけができるのではないか。」などの評価をいただいた。

しかし、保護者の悩みごとは紙面での情報交換では解決しがたいことから、保護者サロンのような保護者や保護者OB(地域の方々)が自由に参加し懇談できる機会の設定を検討していくことが課題としてあげられた。

